



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社KVK

コード番号 6484 URL <https://www.kvk.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長

（氏名）末松 正幸

問合せ先責任者 （役職名）取締役経営管理本部長兼企画部長

（氏名）北川 喜一 TEL 0574-55-0006

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	8,195	5.6	273	△63.4	626	△21.3	389	△27.5
2026年3月期第1四半期	7,762	7.3	746	26.5	796	32.0	537	31.5

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 626百万円（5.9％） 2026年3月期第1四半期 591百万円（9.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	48.51	—
2026年3月期第1四半期	67.12	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	36,925	31,096	84.2
2026年3月期	36,327	30,800	84.8

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 31,096百万円 2026年3月期 30,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	40.00	—	45.00	85.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	15,300	1.2	1,300	△5.7	1,550	△10.6	1,100	△7.6	137.03
通期	31,500	1.9	2,800	3.3	3,200	4.1	2,200	0.5	274.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	8,322,178株	2026年3月期	8,322,178株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	294,526株	2026年3月期	294,526株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	8,027,652株	2026年3月期1Q	8,007,369株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	P. 5
四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 7
(セグメント情報等の注記)	P. 8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第 1 四半期における事業環境は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなか緩やかな回復傾向で推移しました。しかしながら、中東地域をはじめとする地政学的リスクの高まりや物価上昇、為替動向による影響等、経済の見通しは引き続き不透明な状況で推移しております。また、住宅市場におきましては、物価高や建築資材価格の高騰に伴う住宅価格の高止まりおよび住宅ローン金利の上昇傾向による住宅取得マインドの低迷もあり、新設住宅着工戸数は、改正建築基準法の施行による駆け込み需要の反動で大きく減少した前年同期比で、やや持ち直しに転じてはいるものの、引き続き弱含みで推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、新たに2027年 3 月期を初年度とする 3 ヶ年の中期経営計画を策定しました。2029年 3 月期に売上高330億円、営業利益率10%、ROE 10%の達成に向け、3つの重点戦略「営業力・商品力の進化」、「生産力の進化」、「サステナビリティ視点での経営基盤の強化」を柱に盤石な事業基盤を着実に築き、持続的な成長と企業価値の向上を実現してまいります。

その取り組みとして、お客様のニーズや価値観・ライフスタイルが多様化し、水栓金具にもより高いデザイン性とより高い使い勝手が求められているなか、ご好評をいただいておりますキッチン用シングルシャワー付混合栓にノーブルアンバー色を追加しラインアップを強化しました。これによりビルトイン浄水器仕様が 4 色、浄水器レス仕様が 7 色の展開となりました。質感やトーンを自由に選べる豊富なカラーラインアップにより、インテリアと心地よく調和し高級感のある質感で、ワンランク上の上質なキッチン空間を演出していきます。

生産面におきましては、K P S (KVK Production System) 活動を柱として最適生産を追求し、あらゆる無駄の排除とコスト競争力の強化を推し進めております。N P S 研究会による巡回研究会のほか、5 月には選抜メンバーによる社内自主研究会を開催するなど、K P S 活動が活性化してきております。引き続き、自主的な研究会を定期的に開催することでK P S 活動を一層活性化させ、工場の改善に取り組むことにより生産性の向上を図ってまいります。

また、販売面におきましては、当社の販売代理店・特約店で構成する全国K V K会の地区大会を、関西地区、東北地区、関東地区にて開催してまいりましたが、5 月には西日本地区にて開催しました。お取引先の皆様と親交を温め、管工機材販売ルートとの連携強化を図ったことにより、売上向上に貢献しました。

当第 1 四半期の連結業績につきましては、住宅市場が厳しい状況が続くなか、得意先への受注活動に注力した結果、各商流において当社の主力商品であるシングルレバー式水栓およびサーモスタット式水栓の受注が増加した一方、主要な原材料である銅建値の高止まりと急激な円安による部品価格の高騰により、売上高は8,195百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は273百万円（前年同期比63.4%減）となりました。また、本年 4 月に投資有価証券の一部を売却した売却益を計上し、経常利益は626百万円（前年同期比21.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は389百万円（前年同期比27.5%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産は、前連結会計年度末に比べ597百万円増加し、36,925百万円となりました。これは主に現金及び預金が413百万円、売上債権が288百万円増加したことによりです。

負債は、前連結会計年度末に比べ302百万円増加し、5,829百万円となりました。これは主に仕入債務が480百万円増加したことによりです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ295百万円増加し、31,096百万円となりました。この結果、自己資本比率は84.2%（前連結会計年度末は84.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内経済は雇用・所得環境の改善や各種政策などにより緩やかな景気回復が期待される一方で、物価の上昇や円安・金利上昇への懸念が依然継続しております。加えて、中東情勢の緊迫化や米国の通商政策の影響により、世界的に景気後退懸念が強まるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした環境下において、当社グループは本年 8 月より製品の価格改定を行うこととしました。引き続きお客様からの指名買いをいただける付加価値の高い商品の開発に取り組むとともに、高効率な生産体制の追求によるコスト競争力の強化および安定供給体制の構築に努めてまいります。

以上を踏まえ、現時点における2027年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、2026年 5 月15日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,348,211	3,762,034
受取手形	57,938	20,995
売掛金	4,090,380	4,282,730
電子記録債権	6,987,081	7,120,409
商品及び製品	929,384	967,957
仕掛品	1,515,559	1,542,648
原材料及び貯蔵品	2,116,988	2,111,378
その他	366,062	517,102
貸倒引当金	△106,000	△111,100
流動資産合計	19,305,606	20,214,158
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	3,749,633	3,652,602
土地	2,084,094	2,084,524
その他（純額）	3,590,655	3,560,074
有形固定資産合計	9,424,383	9,297,202
無形固定資産	1,049,125	1,063,895
投資その他の資産		
投資有価証券	2,984,246	2,780,800
投資不動産	2,289,646	2,279,657
繰延税金資産	25,110	14,403
退職給付に係る資産	1,052,607	1,071,936
その他	196,472	203,145
投資その他の資産合計	6,548,083	6,349,943
固定資産合計	17,021,592	16,711,041
資産合計	36,327,199	36,925,199

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,650,255	1,993,922
電子記録債務	696,104	832,595
未払法人税等	458,361	84,213
賞与引当金	466,353	245,531
製品保証引当金	158,000	160,000
その他	1,326,498	1,594,193
流動負債合計	4,755,573	4,910,457
固定負債		
繰延税金負債	193,162	338,901
退職給付に係る負債	59,581	59,162
役員株式給付引当金	301,925	309,934
資産除去債務	43,620	43,620
その他	172,592	167,041
固定負債合計	770,882	918,660
負債合計	5,526,455	5,829,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,854,934	2,854,934
資本剰余金	3,023,334	3,023,334
利益剰余金	23,591,515	23,650,089
自己株式	△462,074	△462,074
株主資本合計	29,007,709	29,066,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	762,911	930,632
為替換算調整勘定	750,266	826,561
退職給付に係る調整累計額	279,856	272,603
その他の包括利益累計額合計	1,793,034	2,029,797
純資産合計	30,800,744	31,096,081
負債純資産合計	36,327,199	36,925,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
売上高	7,762,867	8,195,147
売上原価	5,790,704	6,636,583
売上総利益	1,972,163	1,558,563
販売費及び一般管理費	1,225,636	1,285,233
営業利益	746,526	273,329
営業外収益		
受取利息	117	511
受取配当金	7,867	10,191
投資有価証券売却益	—	338,168
投資不動産賃貸料	42,719	43,067
為替差益	10,765	—
その他	23,612	24,704
営業外収益合計	85,082	416,644
営業外費用		
売上割引	10,946	12,543
投資不動産賃貸費用	23,105	22,573
為替差損	—	27,453
その他	1,507	967
営業外費用合計	35,558	63,537
経常利益	796,050	626,436
税金等調整前四半期純利益	796,050	626,436
法人税、住民税及び事業税	183,807	152,004
法人税等調整額	74,780	84,996
法人税等合計	258,588	237,000
四半期純利益	537,462	389,436
親会社株主に帰属する四半期純利益	537,462	389,436

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
四半期純利益	537, 462	389, 436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114, 426	167, 720
為替換算調整勘定	△59, 968	76, 295
退職給付に係る調整額	△408	△7, 252
その他の包括利益合計	54, 049	236, 763
四半期包括利益	591, 512	626, 199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	591, 512	626, 199

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
減価償却費	262,388千円	273,926千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、給水栓・給排水金具・継手及び配管部材の製造・加工・仕入れ及び販売を主事業とする専門メーカーで、所在地別セグメント情報を報告セグメントとしております。

I 前第 1 四半期連結累計期間（自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,657,152	105,714	—	7,762,867	—	7,762,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	69,597	1,790,481	90,232	1,950,311	△1,950,311	—
計	7,726,750	1,896,196	90,232	9,713,179	△1,950,311	7,762,867
セグメント利益	678,149	217,794	3,943	899,887	△153,360	746,526

(注) 1. セグメント利益の調整額△153,360千円には、セグメント間取引消去13,583千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△170,246千円、棚卸資産の調整額3,302千円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第 1 四半期連結累計期間（自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,053,986	141,160	—	8,195,147	—	8,195,147
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60,777	2,053,351	96,258	2,210,387	△2,210,387	—
計	8,114,764	2,194,512	96,258	10,405,535	△2,210,387	8,195,147
セグメント利益又は 損失 (△)	436,971	△55,908	3,765	384,827	△111,497	273,329

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△111,497千円には、セグメント間取引消去15,893千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△181,098千円、棚卸資産の調整額53,707千円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。